

地域福祉の推進に向けたシンポジウム  
「世代や分野を超えた地域づくりに向けて～地域共生社会の実現のために～」  
実施結果概要

■ 申込・出欠状況

事前申込者数	140 名	区市町村 84、社協 44、委員 1、 都庁 7、厚生労働省 4
(うち) 参加者数	121 名	区市町村 72、社協 40、委員 1、 都庁 5、厚生労働省 3
当日参加者数	4 名	区市町村 2、社協 1、都庁 1
最終参加者数	125 名	

■ 参加者アンケート結果 (回収数 100/125 (回収率 80%))

1 本日のシンポジウムについてご感想をお聞かせください。

◆ 全体を通して

選択肢	回答数	(割合)
とても参考になった	24	(24%)
参考になった	75	(75%)
あまり参考にならなかった	1	(1%)
参考にならなかった	0	(0%)
合計	100	(100%)

(主な自由記述)

内容
他区の実践状況が分かり参考になった。
地域づくりには時間がかかる、結果を焦らないという共通認識が社協内にも行政にもないと実のある取組にならないのだなと強く感じました。管理職の理解を得るのは難しそうですが……。
内容は良かったが、時間が足りなくて残念だった。

◆ 事例発表

選択肢	回答数	(割合)
とても参考になった	32	(32%)
参考になった	66	(66%)
あまり参考にならなかった	2	(2%)
参考にならなかった	0	(0%)
合計	100	(100%)

(主な自由記述)

内容
とても分かりやすく、地域に積極的に行かれていた様子、手法がよく伝わりました。
板橋区、三鷹市のような住民参加での体制の必要性を感じた。
特に板橋さんの協議体設置から SC 選出までの流れが大変参考になりました。
区市町村それぞれ手探りで頑張っている様子がよく分かった。特に調布市のひだまりサロンは身近で温かみがあり参考にしたいと思ったし、内容も具体的で分かりやすかった。
具体的かつコンパクトにまとめられていて分かりやすかったです。
財源や困難な事なども伺えたら良かった。

◆ パネルディスカッション

選択肢	回答数	(割合)
とても参考になった	27	(27%)
参考になった	60	(60%)
あまり参考にならなかった	9	(9%)
参考にならなかった	0	(0%)
無回答	4	(4%)
合計	100	(100%)

(主な自由記述)

内容
室田先生、小林先生のまとめが分かりやすい。
継続性←→マンネリのテーマが特に良かった。
有識者の視点が3事例に新たな視点、気付きを与えてくれたと思う。
もう少し先生方のお話を聞きたかった。
時間が少ない。会場とのやり取りも欲しかった。
時間が短かったです。全体の長さはちょうどこれくらいが良いので事例は2つくらいで良かったのかもと思いました。

2 シンポジウムの開催時期についてご意見をお聞かせください。

選択肢	回答数	(割合)
もっと早い時期の開催がよい	16	(16%)
ちょうどよい	77	(77%)
もっと遅い時期の開催がよい	0	(0%)
無回答	7	(7%)
合計	100	(100%)

(「もっと早い時期がよい」と回答した方が望む時期)

春、5～6月頃 (3名)、7～8月頃 (5名)、9～10月頃 (4名)

→ 次年度予算編成を意識した時期設定を望む声が複数あった。

3 シンポジウムの開催時間についてご意見をお聞かせください。

選択肢	回答数	(割合)
もっと短い方がよい	7	(7%)
ちょうどよい	82	(82%)
もっと長い方がよい	9	(9%)
無回答	2	(2%)
合計	100	(100%)

4 シンポジウムの構成や実施形態についてご意見をお聞かせください。(複数回答可)

選択肢	回答数	(割合)
このままでよい	45	(42.9%)
学識経験者等による講演があるとよい	37	(35.2%)
参加者間の意見交換の場(グループワーク等)があるとよい	20	(19.0%)
その他	3	(2.9%)
合計	105	(100%)

(「その他」回答など)

- ・ 住民の方がパネリストにいと、生の声が聞けると思った。
- ・ やり方を変えながら何回か開催したらよい。
- ・ 基本(制度など)を押さえる話が最初にあった方がよい。

5 今後取り上げてほしいテーマや具体的な取組事例があればご記入ください。

- ・ 防災と地域共生社会
- ・ 引きこもり、貧困など
- ・ 差別解消などの取組
- ・ 法改正を受けて地域福祉計画を策定した地区の取組
- ・ 地域福祉計画と地域福祉活動計画との連携
- ・ 社協との連携について
- ・ 協議体の作り方のポイント
- ・ CSW の必要性
- ・ 社会福祉法人の地域における公益的取組の活用
- ・ 自治体職員のスキルアップ、スタンス
- ・ 生活支援コーディネーターと地域福祉コーディネーターとの連携、関わりの事例。業務内容の棲み分けについて、地域福祉と高齢福祉の部署の連携事例など
- ・ 地域包括ケアネットワークとの連携をうまく形成している事例を知りたい。
- ・ 福祉部門以外の方（例えば地元企業や学校など）を巻き込んだ連携事例について取り上げていただきたい。
- ・ 地域の活動に無関心の方をうまく活動に呼び込んだような事例があれば取り上げていただきたい。
- ・ 地域共生社会の代名詞であるサロンや子ども食堂ではない、何か新しい取組事例があれば紹介してほしい。さらに、どのようなプロセスをたどるのか検討した成果が見てみたい。
- ・ 成功例だけでなく失敗例（何がいけなかったのか）も取り上げてほしい。
- ・ 共生社会の問題は抽象度が高いので、また同様のシンポジウムがあれば嬉しい。
- ・ 地域格差がとともあるテーマで、取り上げていただきありがとうございます。続編を期待します。

6 その他お気づきの点などがありましたらご記入ください。

- ・ 時間が短かったので、もう少し長くしてもよいので実りのあるシンポジウムにしてほしい。
- ・ タイムキーパーの役割をする方はいないのですか。
- ・ 社協には直接通知を出してほしいです。各々の自治体での財源が知りたかったです。
- ・ 会場が寒かった。